

原子力基盤クロスオーバー研究の活動状況について

1. 交流委員会の開催状況

交流委員会	開催日	開催場所
原子力用材料	H10 年 2 月 17 日 (火)	大手町フィナンシャルセンター 2104 号
原子力用人工知能・知的活動支援	H10 年 2 月 10 日 (火)	東海大学校友会館 朝日の間
原子力用レーザー	H10 年 2 月 18 日 (水)	富国生命ビル 第 1 会議室
放射線リスク評価・低減化	H10 年 2 月 9 日 (月)	大手町フィナンシャルセンター 2104 号
放射線ビーム利用先端計測・分析	H10 年 2 月 16 日 (月)	航空会館 701 号
原子力用計算科学	H10 年 2 月 23 日 (月)	東海大学校友会館 朝日の間

2. 推進委員会の開催状況

回数	開催日	開催場所	主な内容
第 20 回	H10 年 3 月 3 日 (火)	経団連会館 ルビールーム	・各交流委員会活動状況報告 ・クロスオーバー研究の展開について ・原子力用人工知能・知的活動支援国際シンポジウム開催結果報告

3. 研究進捗状況報告会

回数	開催日	開催場所	報告テーマ
第 4 回	H10 年 3 月 3 日 (火)	経団連会館 ルビールーム	・原子力用材料 ・原子力用人工知能・知的活動支援 ・原子力用レーザー ・放射線リスク評価・低減化 (DNA・核種移行分野)

4. 国際シンポジウム等の開催

原子力プラントの機能高度化と安全性、人間親和性の向上を目指した学際的なシンポジウム AIR&IHAS '97 を下記日程で開催した。発表講演数は 25 題。基調講演、パネル討論等小規模ではあるが (80~90 名/日)、研究成果や動向について活発に情報交換を行った。

なお、詳細は参考 2 の資料を参照して下さい。

会議名	開催日	開催場所	開催交流委員会
AIR&IHAS '97	11 月 19 日 (水) ~21 日 (金)	理化学研究所 (鈴木梅太郎ホール)	原子力用人工知能 ・知的活動支援

詳細は参考 2 の資料を参照。

5. 平成9年度大学等への研究委託

研究委託は大学等の研究者がクロスオーバー研究に参加するための方策として、交流委員会ごとに研究・調査を委託するという形をとり、平成6年度から開始したものである。

交流委員会	平成9年度クロスオーバー委託研究／委託調査
原子力用材料	①複合環境用の複合材料開発に係わる動向調査 (三菱総合研究所)
原子力用人工知能・知的活動支援	①大規模実時間知識ベース構築における知識の矛盾認識と知識修正機構に関する研究(京都大学) ②知的対処能力の獲得／維持過程に関する研究(東北大学)
原子力用レーザー	①高周波電子銃に関する調査(京都大学) ②FELの理論解析についての調査(長岡技術科学大学) ③自由電子レーザー・シミュレーションコードの開発 (レーザー総合技術研究所)
放射線リスク評価・低減化	①新たな蛍光色素を用いたFISH法による放射線誘発染色体DNA突然変異の検出法の開発(北海道大学) ②超ウラン元素の植物等移行特性に関する研究 (金沢大学) ③河川領域における降雨流出モデルの検証(九州大学)
放射線ビーム利用先端計測・分析	①陽電子ビーム輝度強化のビーム工学的研究 (大阪大学産業科学研究所) ②陽電子ビームを用いた照射欠陥・表面欠陥の深さ分布の研究(東京学芸大学) ③高輝度放射光の先端的利用に係わる調査(東京大学)
原子力用計算科学	①原子力用建造物の損傷機構解明に関する計算科学的解析手法の調査(富士総合研究所) ②原子力分野における計算科学の技術開発の現状と計画に関する情報収集及び調査(原子力学会)